

平成26年3月  
勝浦市議会定例会会議録（第6号）

平成26年3月7日

○出席議員 15人

|          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 1番 磯野典正君 | 2番 鈴木克己君  | 3番 戸坂健一君  |
| 5番 渡辺玄正君 | 6番 根本譲君   | 7番 佐藤啓史君  |
| 9番 松崎栄二君 | 11番 岩瀬義信君 | 12番 寺尾重雄君 |
| 13番 土屋元君 | 14番 黒川民雄君 | 15番 末吉定夫君 |
| 16番 丸昭君  | 17番 刈込欣一君 | 18番 板橋甫君  |

○欠席議員 3人

|         |          |           |
|---------|----------|-----------|
| 4番 藤本治君 | 8番 岩瀬洋男君 | 10番 吉野修文君 |
|---------|----------|-----------|

○地方自治法第121条の規定により出席した者の職氏名

|                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 市長 猿田寿男君                  | 副市長 関重夫君      |
| 教育長 藤平益貴君                 | 企画課長 関富夫君     |
| 財政課長 関利幸君                 | 税務課長 鈴木克己君    |
| 市民課長 渡辺直一君                | 介護健康課長 大鐘裕之君  |
| 生活環境課長兼<br>清掃センター所長 西川一男君 | 福祉課長 花ヶ崎善一君   |
| 都市建設課長 藤平喜之君              | 農林水産課長 関善之君   |
| 観光商工課長 玉田忠一君              | 会計課長 岩瀬義博君    |
| 教育課長 軽込貫一君                | 社会教育課長 菅根光弘君  |
| 総務課総務係長 土屋英二君             | 総務課職員係長 君塚恒寿君 |
| 総務課秘書係長 軽込一浩君             | 水道課業務係長 渡邊弘則君 |
| 水道課施設係長 瀧川正和君             |               |

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

|            |           |
|------------|-----------|
| 事務局長 目羅洋美君 | 議事係長 屋代浩君 |
|------------|-----------|

---

議事日程

議事日程第6号

第1 議案上程・質疑・委員会付託

議案第11号 平成26年度勝浦市一般会計予算

議案第12号 平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計予算

議案第13号 平成26年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算

議案第14号 平成26年度勝浦市介護保険特別会計予算

議案第15号 平成26年度勝浦市水道事業会計予算

## 第2 休会の件

---

### 開 議

平成26年3月7日（金） 午前10時開議

○議長（岩瀬義信君） ただいま出席議員は15人で定足数に達しておりますので、議会はここに成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元へ配布したとおりでありますので、それによってご承知を願います。

---

### 議案上程・質疑・委員会付託

○議長（岩瀬義信君） 日程第1、議案を上程いたします。

議案第11号 平成26年度勝浦市一般会計予算、議案第12号 平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計予算、議案第13号 平成26年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算、議案第14号 平成26年度勝浦市介護保険特別会計予算、議案第15号 平成26年度勝浦市水道事業会計予算、以上5件を一括議題といたします。

なお、議案第11号 平成26年度勝浦市一般会計予算については、既に質疑が終了しておりますので、議案第12号 平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計予算、議案第13号 平成26年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算、議案第14号 平成26年度勝浦市介護保険特別会計予算、議案第15号 平成26年度勝浦市水道事業会計予算、以上4件を一括して質疑を行います。

質疑に際しましては、議案番号を、事項別明細書はページ数をお示し願います。ページ数は、217ページから339ページまでであります。

ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。鈴木議員。

○2番（鈴木克己君） 議案第14号の介護保険特別会計について、1点のみですが、お伺いをします。303ページの包括支援事業の緊急通報体制整備事業についてですが、現在もこの事業は行っていて、補足説明の中で、今年度内容を充実させるというようなこともありました。

まず、1点目として、平成25年度と26年度の事業の内容について違いがあれば、どのような内容なのかご説明いただきたいと思います。

それと、説明資料に1,246万円の計算式が載っています。3,132円掛ける延べ3,981台で、これの延べの算出がどういう数字なのかについてお伺いをしたいと思います。

その中で、この事業を行うに当たっては、老人世帯というか独居老人なり高齢者世帯になる

と思いますが、全体の対象世帯数がいかほどなのかお伺いしたいと思います。以上、3点、お願いします。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） お答えいたします。まず、緊急通報システムサービスの現在と今後予定される違いということでございますが、現在、通報システムにつきましては、ひとり暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯に対しまして、緊急通報装置と持ち歩きのできるペンダント型緊急ボタン、これを貸与いたしまして、利用者の側から緊急性を知らせるというシステムでございます。今度新しく取り入れようとするのは、まず、ライフリズムの監視ということで、利用者の側だけではなくて、実際に委託する会社になると思いますが、センサーを家庭の中、居室の中に設置いたしまして、ライフリズムということ、例えばトイレの開閉センサーがございしますが、トイレのドアにセンサーを設置いたしまして、丸々1日間、トイレの使用がない場合、逆に動かない場合なんですけど、これにつきましては、異常が発生したのではないかとということで警備員が駆けつけられるという体制、また、人感センサー、これにつきましては、人の体温を感じるセンサーでございますが、これによりまして、人の動きを感知して異常を察知する。そういうシステムの導入を予定しております。

次に、算出数ということでございますが、これは延べ3,981台ということでございますが、これにつきましては、月々増減はございますが、利用件数といたしましては332世帯でございます。これは年間の平均数ということでございます。

次に、世帯数の把握ということで、まず、高齢者の世帯につきましては、独居世帯が1,188世帯、また高齢者の世帯ということで、お二人いるとかそういう世帯でございますが、1,159世帯、延べで2,347世帯でございます。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。鈴木議員。

○2番（鈴木克己君） この緊急通報体制の内容は拡充されるということになりますが、非常にいい内容になってくると思います。近隣では、既にいすみ市、御宿町等がこういう体制を整備しているということで、これから独居老人等も増えてくる、また高齢者も増えてくる中で、やはりいざとなったときの通報を自分でできない家庭、ひとり暮らしは特にできないということなので、非常に評価したいと思います。ぜひともこの普及に努めていただきたいのですが、これが来年度から行われると。先ほどお聞きしたのが、330世帯分だということの中で、対象世帯は合計すると2,347世帯ということですが、これは確かにお金がかかってくる問題ですけど、人命にもかかわるようなことの対応にもなりますので、もっと多くの世帯に普及させていく必要があるかと思います。そういう中において、普及させるための周知とかいうものをどのように考えているのか、また、各地域に民生委員の方もおりますので、そういう方は自分の受け持ちのそういう対象世帯は把握していると思いますので、そういう方を通じて、もちろんやると思いますが、その普及体制をどのようにしていくのかについて、2点目でお伺いをしたいと思います。以上です。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） お答えいたします。周知の方法ということでございますが、現在でも行っておりますが、市の広報かつうら、またホームページ、もちろん担当される民生委員の方を通じて現在の制度の周知は行っております。今後におきましても、現在使用されている方、

変更になる場合もございますので、その点につきましても、鋭意、一層周知してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。佐藤議員。

○7番（佐藤啓史君） 私のほうからは、前段者と同じく議案第14号の介護保険特別会計についてお聞きしますけれども、率直にお聞きしたいんですけれども、介護保険を利用する、いわゆる介護認定審査を受けまして、要介護3あるいは4とか2とかというものを受けて居宅サービスを利用するとか施設へ入所してという形になるうかと思いますが、率直に、毎年介護利用者がどの程度数が増えているという言い方は変ですけど、人数がどうなっているのかというのをお聞きしたいんです。それがまず1点。

それと、ちょっと細くなるんですが、302ページですが、地域支援事業費の中の包括的支援事業費の任意事業費、そこに介護用品支給事業費とあります。その中に、クーポン券の支給という形で6,000円掛ける12カ月掛ける24人分となっておりますが、このクーポン券、介護用品を利用するためのクーポン券というふうに、私、考えるんですが、このクーポン券の利用方法であるとか、クーポン券を利用できる該当はどのような方ができるかという部分で、ちょっと細かいのですが、課長のほうからご答弁をいただきたいと思います。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） お答えいたします。まず、要介護の人数ということでございますが、例えば平成25年1月の要認定者と26年1月ということでございますが、25年1月の時点で1,237名、本年の1月末で1,278名というふうに50名近くは、年間増えている計算になります。1,278名おりますが、実際に何らかの介護サービスを利用されている方は961名ということで75%の方が利用されております。

次に、クーポン券の関係でございますが、家族介護用品支給事業ということで、これにつきましては、要介護4または5、重度の方を介護されている在宅の市民税非課税世帯が対象になりますが、この方に、現在対象は24名分ということで、月6,000円分の紙おむつであるとか、そういうものを購入できるクーポン券を配布してございます。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。佐藤議員。

○7番（佐藤啓史君） ありがとうございます。そうしましたら、クーポン券の中に今紙おむつ等使用できる要介護4、5で市民税非課税という前提があるんですけれども、このクーポン券を使用できる、紙おむつ等を購入するのに市内の商店で使えるものなのか、市外でも使えるものなのかというところについて、また、市内でできるのは何店舗ぐらいあるのかという部分をお示しいただきたいと思います。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） 使用の範囲といたしましては、市内の薬局7店で使用しております。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。根本議員。

○6番（根本 譲君） 私のほうは国民健康保険の全般について若干お聞きしたい点がございます。この資料をいただきまして、当初予算の概要を読ませていただきまして、勝浦市の国民健康保険の現状ということを読みました。この中で、総医療費が年々上がっているということを書いてありますが、毎年そうなんです、この医療費抑制に対しての施策というものが、どうも私

には見受けられないのですが、その点、この26年度、こういうものを考えているとか、そういったものがないんですか。それでこの26年度はやっていくつもりなのか、また、それ以外にこういうものを考えているんだけどという、そういう腹案といいますか、そういうものがあるのかどうか、お聞きしたいと思います。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。渡辺市民課長。

○市民課長（渡辺直一君） お答えいたします。医療費の問題は、なかなか難しい点もございまして、一概に健康づくりイコール医療費の軽減につながるとは難しい点もございすけれども、国民健康保険の事業といたしましては、まず一番、特定健診の受診率アップに向けて26年度も取り組んでいきたい点と、もう一点は、ジェネリックとかそういう医薬品の活用を図っていただくというような広報等、努めてまいりたいと思います。

また、健康づくりにつきましては、介護健康課と連携に努めながら進めてまいりたいと思います。以上でございます。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。寺尾議員。

○12番（寺尾重雄君） 私のほうから健康保険と後期高齢者、そして介護保険、この連動について、今年度予算では、健康保険のほうは0.7%、前年比に対する予算組み、そして、介護保険に関して、実際0.8%増という話の中で、国のほうとしては、介護保険料の見直しをかける中で、勝浦市の今後の介護保険に対する料金の見直しは、当然これに含まれているのかどうか。そして、その改正に当たって、どのくらいの保険料を目指しているのか、その辺をお聞かせ願いたいと思う件と、国民健康保険、先ほど来前段者根本議員の話からいっても、当然、医療費の高騰がある中で、0.7%前年比に抑えながら、努力しながらそういうものの考えはあるにしても、それに伴って、後期高齢者のほうが増える傾向の比率というのは、全体的な割合から言って、当然変わるものがあるのか、その辺のトータルの考えはどうなるのか。パイが変わらない中で一つのものが抑えられ、一つのものが上がり、結局全体が上がっているのかという問題であるのかなと思うので、その辺の比率的なものはどうなんですか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。以上です。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。渡辺市民課長。

○市民課長（渡辺直一君） お答えいたします。まず、国民健康保険の保険税の関係でございますけれども、26年度当初予算につきましては、現状の状況から推計して、ある程度の必要額を見込んでおります。まだこの中には、大幅な税率改正などは含まれておりませんが、26年度、国の動きといたしましては、今、国民健康保険の保険税の賦課限度額が77万円になっておりますけれども、これを4万円引き上げて81万円に改正される予定ですので、26年度に入りましたら、それらも踏まえてもう一度保険税のほうは見直さなければいけないのかなというふうな考えを持っております。来年度は、本年度に比べて全体的な予算が落ちておりますけれども、これについては、一概に医療費が落ちているということではなくて、医療費につきましては、ほぼ本年度並みかなというふうには推計しておりますが、そのほかには後期高齢者医療に支払います保健者としての支援金等が、年々支払額が多かったんですけども、来年度につきましては、今の現状では見込みが本年度より落ちるような状況もございまして、そういう関係で若干予算が下がっている状況がございます。

一方、議員ご指摘のとおり、今、75歳以上の方が加入しております後期高齢者医療制度につ

きましては、年々医療費が上がっているような状況でございます。実は、後期高齢者につきましては、そのような現状から、後期高齢者の保険料につきましては、2年ごとに見直しを行っておりますが、24年度、25年度と同じ税率でございましたけども、今、26年度、27年度につきましては、保険料を引き上げる予定で詰められておりまして、若干、広域連合からの予算の計上も、保険料が上がることを見込んでの算出をされております。

一方で、低所得者層も増えておりますので、税率を上げてでも保険料は確保できない点がありますので、それは基盤安定で一般会計のほうから広域連合のほうに繰り入れしておりますが、そういう額も来年度引き上がりますので、保険料の増額またそういう低所得者の増の基盤安定の繰入金等の増加もございまして、後期高齢者の場合には来年度の予算、26年度予算につきましては、例年に比べて上がっているような状況でございます。以上でございます。

○議長（岩瀬義信君） 次に、大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） お答えいたします。介護保険料の関係でございますが、現在の第5期の介護保険の事業計画において、本年度まで介護保険料が算出されておりますが、現在、第6期の介護保険事業計画、これは本年度策定いたしますが、その前段として、現在7,000人の方に対してニーズの調査を行っておりまして、今月中に取りまとまる予定でございますが、この中でどういうニーズ、どういうサービスがどの程度必要なのかというものが出てまいります。それに応じて第6期、27、28、29年という3年間の介護保険料を決定していく手はずになりますが、できるだけ介護保険料は、現在県内6番目という高さでございますが、安く抑えられればそれにこしたことはないと考えており、今年度、介護保険事業計画の中で検討してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。寺尾議員。

○12番（寺尾重雄君） 確かに勝浦の場合、結構高いんじゃないかというものもある中で、今、課長、介護保険、その件に関しまして、実際努力されているのは当然の中で、当然上げざるを得ない。消費税の関係で3%この4月から上がる。その3%上がることによって、大体1%当たり28兆円ですか、全部で8兆4,000億円の上がりの中で、その措置的なものを、税が福祉のほうに入るのかというのが日本国の問題の中であるんでしょうけど、その辺で、財政のほうでも、消費税を考えた中の、介護健康保険、一般会計からの繰り入れ等の問題というのはどうなのか。その辺、再度お聞きしておきたいと思うんですけど、今、第5次計画の中で6次計画に入ったときに、この勝浦市の高齢者、介護保険につきまして、当然、高齢化の中の進み度というのは勝浦市の場合は、決して避けて通れる問題でもないだろうし、非常にスピード的には速く、どこよりも高齢者の問題、今でもそうなんですけど、そこで負担というのは大きくなっていく面というのはあるんですけど、その辺どうなのか、再度お聞かせ願えないかと思います。課長、6次計画の中で予測的なものもあるかと思うんですよ。その辺、どうなのか、わからなければわからないでもいいですよ。

○議長（岩瀬義信君） 答弁を求めます。大鐘介護健康課長。

○介護健康課長（大鐘裕之君） お答えいたします。介護保険料につきましては、今回の消費税の改定がございまして、保険料には特に影響はしておりませんが、次回、6期の計画の中では介護報酬の改定とか、そういうものも当然にらまなければいけませんので、その中で6期の新しい計画で保険料についても検討してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） 以上をもちまして、各会計予算の質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第11号ないし議案第15号、以上5件につきましては、7人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにしたと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） ご異議なしと認めます。よって、本案の5件につきましては、7人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。ただいま設置されました予算審査特別委員会の委員の選任につきましては、勝浦市議会委員会条例第5条第1項の規定により、磯野典正議員、末吉定夫議員、寺尾重雄議員、戸坂健一議員、根本 譲議員、丸 昭議員、刈込欣一議員、以上7人の議員を指名いたします。

---

## 休 会 の 件

○議長（岩瀬義信君） 日程第3、休会の件を議題といたします。

明3月8日から18日までの11日間は、委員会審査等のため休会といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） ご異議なしと認めます。よって、3月8日から18日までの11日間は休会することに決しました。

なお、各委員会は、会期日程表に基づきまして付託事件の審査をお願いいたします。

3月19日は定刻午前10時から会議を開きますので、ご参集をお願いします。

---

## 散 会

○議長（岩瀬義信君） 本日はこれをもって散会いたします。

お疲れのところ恐縮ですが、先ほど選任されました予算審査特別委員会委員の方は、お残りいただいて、午前11時から第一委員会室において委員長及び副委員長の互選を行っていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。本日はご苦労さまでした。

午前10時29分 散会

---

## 本日の会議に付した事件

1. 議案第11号～議案第15号の上程・質疑・委員会付託
1. 休会の件